

鎌倉市鏑木清方記念美術館 令和元年度（2019年度）第4四半期実績評価

1 美術館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

- ・第4四半期の来館者数は、4,017人で、前年度同期(4,775人)と比べ758人・約15.9%の減であった。
- ・東京国立近代美術館等での「築地明石町」等の鏑木清方の代表作の公開により、鏑木清方への関心が高まったことや、近隣4館との連携スタンプラリー、川喜多映画記念館や山口蓮春記念館との相互割引、新春福引き実施などの取組みもあり、1・2月の来館者は増加したが、2月28日から3月31日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館となったことから、来館者数が減少した。

2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・設備機器点検を行い、設備の管理を的確に実施した。
- ・季節に応じた庭園の管理を行った。

● 施設の運営

- ・展覧会ごとにチラシやポスター等を作成し、周知に努めた。
- ・窓口における受付、施設案内等を適切に行った。
- ・ツイッター等のSNSを活用し、美術館の宣伝強化に努めた。休館中も、開催予定の特別展について発信を行った。

3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務

● 展示・その他事業

- ・事業計画どおり1月に展示替えを行い、2月25日までは、企画展を実施した。
- ・2月の展示替えも2日間行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月29日からの企画展は開催しなかった。
- ＊展示替 69作品 69点の展示(1月)
- ・各展覧会とも展示解説を実施し、1月・2月の展示解説への参加者は延べ253人だった。
- ・第4四半期は普及事業として、子ども参加プログラム「春休み親子鑑賞」が予定されていたが、臨時休館により、中止となった。

● その他必要な業務

- ・鏑木美術品の調査研究や、近隣文化施設との5館連携スタンプラリーを行った。

4 鏑木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務

● 収集・保管

- ・作品等の保管や展示の状況確認を2月4日、3月17日に行い、結果は良好であった。

● 調査・研究

1月

- ・清方の随筆における圓朝との交流に関する記述についての調査
- ・着物の名称についての調査
- ・障がい者の文化施設利用に関する調査
- ・梶田半古についての調査
- ・『婦人倶楽部』と清方に関する調査
- ・清方と新版画との関わりについての調査
- ・清方作《高尾》の実見調査
- ・清方旧蔵の工芸品の実見調査

2月

- ・圓朝の幽霊画コレクションの内容と経緯についての調査
- ・子ども向け展示案内の実例調査
- ・木版画の染料に関する調査
- ・梶田半古に関する調査
- ・『婦人画報』に関する調査
- ・『天うつ狼』口絵に関する調査
- ・清方と新版画との関わりについての調査
- ・清方門下の閨秀画家に関する調査
- ・錦絵における色差しから明治の差上げへの変遷に関する調査

3月

- ・江戸末期から明治の木版画で使用された染料についての調査
- ・土絵具の作り方についての調査
- ・清方が購入した美術品の来歴調査
- ・清方門下の閨秀画家の活動についての調査
- ・昭和初期から30年代の清方作品の実見調査
- ・梶田半古作品の実見調査(2点)
- ・鍋木家所蔵の高井泰令作品の調査
- ・梶田半古に関する調査
- ・『婦人画報』に関する調査

5 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書等は期日までに提出されている。
(1月分：2月7日、2月分：3月10日、3月分：4月8日提出)
- ・休館情報や展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。
- ・市広報に展覧会の情報を掲載し、市民への周知を行った。
- ・モニター広告を利用し、市役所本庁舎への来庁者に展覧会内容を周知した。

● 事故・苦情対応

特になし。

● その他

- ・4月1日からインターン1名(桜美林大学)を受入れている。
- ・「障害福祉と文化芸術の関わりを考える勉強会」に参加した。
- ・総合避難訓練を実施した。
- ・調査研究の成果として、収蔵品の図版と解説(日・英)が閲覧できる「収蔵品データベース」を構築し、ホームページで公開した。

6 全体評価

- ・第4四半期の来館者数は4,017人で、前年度同期(4,775人)と比べ758人・約14.6%の減となっている。
- ・2月29日から3月31日の臨時休館により、四半期全体としては前年度比で減少となっているが、鏑木清方への関心の高まりや好評を博した山口蓮春記念館との相互割引、新春福引きなどの取組みにより、1・2月の来館者は増加した。今後も各館との連携を密にし、充実した公開展示に取り組まいたい。
- ・調査・研究の成果として、「収蔵品データベース」をホームページで公開した。この成果を市民等への周知を図るとともに、今後も、成果を市民等のより多くの方々に伝えていくよう積極的に取り組まいたい。
- ・施設の維持管理業務に関しては、日常点検を始め、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。

鎌倉市鏑木清方記念美術館 令和元年度（2019年度）第4四半期判定評価

評価項目	判定点	第4四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	-	※
特別利用			
作品に悪影響が出ないような適正な承認を行っているか	10	○	
2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
施設の運営			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務			
展示			
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
その他必要な業務			
展示以外の自主事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 鏑木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務			
美術品等の維持管理			
美術品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、美術品が適切に取り扱われているか	5	○	
調査・研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
出版物の管理・保管は適切に行われているか	3	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報情報は適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0
総 計	122		

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月28日から3月31日まで休館し、来館者数が減少したが、これは不可抗力によるものとする。

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%